

「認知機能と運動機能の関係について」 研究計画書

作成日 2019年9月24日

【研究題名】

認知機能と運動機能の関係について

【研究目的】

認知機能と運動機能の関連性や、認知症疾患別の認知機能と運動機能の経時的変化の特徴などを調査し、効果的なリハビリテーション介入や、在宅生活支援のための予後予測の一助とする。

【対象】

2018年4月以降、「通所リハビリテーションたの」「デイサービスたの」を利用し、かつ認知機能評価、運動機能測定を定期的に受けた方。

【方法】

- ① 対象者の年齢、性別、認知症疾患の有無や病名、他の運動器疾患の有無や服薬情報などの基本情報を収集する。
- ② 認知機能評価は長谷川式認知症スケール（HDS-R）を、①見当識、②即時再生、③計算、④遅延再生、⑤物品記銘、⑥語の流暢性の6項目に細分化し点数化する。
- ③ 運動機能測定は握力、片足立ち時間、Timd Up and Go（TUG）テストの数値を収集する。
- ①～③の内容を、診療録等から後方視的・前方視的に収集し、認知機能・運動機能の関連性や経時的な変化、認知症疾患別の関連性等を検討する。

【研究期間】

2018年4月～2020年3月末までの2年間。

【個人情報について】

対象者の個人情報については院内で厳重に管理し、抄録や口述発表の内容、発表用資料において、個人が特定されないようにデータ化し、使用する。

【研究者】

田野病院 リハビリテーション部

認知症初期集中支援チーム 理学療法士 岡林輝親

電話：0887-38-7111（代表） 内線：513